

《数値目標》

【分野アウトカム】

指標		現状	目標
1	精神病床における入院後3ヶ月、6ヶ月、1年時点の退院率(NDB)	【3ヶ月】60.8% 【6ヶ月】78.5% 【1年時点】85.8% (2019年度)	【3ヶ月】62.8% 【6ヶ月】79.8% 【1年時点】87.8% (2026年度)
	精神病床における新規入院患者の平均在院日数(NDB)	116.5日/人 (2019年度)	111.1日/人以下 (2026年度)
2	精神病床における慢性期入院患者数(65歳以上、65歳未満) (精神保健福祉資料)	【65歳以上】1,380人 【65歳未満】727人 (2022年度)	現状よりも減少 (2026年度)
	精神病床における急性期入院患者数(65歳以上、65歳未満) (精神保健福祉資料)	【65歳以上】412人 【65歳未満】380人 (2022年度)	—
	精神病床における回復期入院患者数(65歳以上、65歳未満) (精神保健福祉資料)	【65歳以上】475人 【65歳未満】221人 (2022年度)	—
	精神障害者の精神病床から退院後1年以内の地域での平均生活日数(地域平均生活日数)(NDB)	324.1日 (2019年度)	325.2日以上 (2026年度)

【中間アウトカム】

指標		現状	目標
3	地域移行人数(入院期間1年以上で帰院先が「転院、転科」、「死亡」を除く) (県調査・月報)	198人 (2022年度)	現状よりも増加 (2026年度)
4	各疾患、領域それぞれについて、診療を行っている医療機関数(県調査)	42施設 (2021年度)	—
	かかりつけ医からの紹介件数(うつ病及びその他の疾患)(県調査)	2,228人 (2022年度)	—
	かかりつけ医からの紹介件数(認知症) (県調査)	315件 (2021年度)	—

【個別施策】

	指標	現状	目標
5	精神疾患に関する県民の理解を深めるための研修会、精神保健福祉大会の参加者数（県調査）	200人 （2022年度）	—
	精神保健福祉相談・訪問件数（衛生行政報告例・地域保健事業報告）	11,096人 （2020年度）	—
	認知症サポーター数 （全国キャラバン・メイト連絡協議会調）	114,702人 （2021年度）	—
	こころのサポーター数（県調査）	0人 （2022年度）	—
	かかりつけ医うつ病対応力向上研修受講者数（県調査）	157人 （2022年度）	—
	かかりつけ医認知症対応力向上研修受講者数（県調査）	2,383人 （2023年2月末）	—
6	精神障害者が利用できるグループホーム数（県調査）	38か所 （2022年度）	43か所 （2026年度）
	ピアサポーター（精神障害）養成者数（県調査）	4人 （2022年度）	—
	精神障害にも対応した保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置数（県調査）	23 （2022年度）	25 （2026年度）
	精神科救急医療機関数（県調査）	14施設 （2021年度）	—
	精神科救急体制についての協議の場の設置（県調査）	1回 （2022年度）	—
	【精神科訪問看護・指導料を算定している又は精神科訪問看護基本療養費の届け出を行っている施設数（精神保健福祉資料）	55施設 （2022年度）	—
7	各疾患、領域それぞれについて、入院診療を行っている精神病床を持つ医療機関数（県調査）	19施設 （2021年度）	—
	各疾患、領域それぞれについて、外来診療を行っている医療機関数（県調査）	42施設 （2021年度）	—

	依存症専門医療機関数(県調査)	5施設 (2022年度)	—
	児童思春期入院管理料を算定した患者数 (精神保健福祉資料)	23人 (2022年度)	—
	精神科救急・合併症入院料または精神科身体合併症管理加算を算定した医療機関数 (精神保健福祉資料)	15施設 (2022年度)	—
	治療抵抗性統合失調症治療薬処方可能医療機関数(NDB)	3施設 (2020年度)	—
8	依存症治療拠点機関数(県調査)	1施設 (2022年度)	—
	高次脳機能障害支援拠点機関数 (県調査)	1施設 (2022年度)	—
	災害拠点精神科病院指定数(県調査)	1施設 (2022年度)	—
	認知症疾患医療センターの指定医療機関数 (県調査)	5施設 (2022年度)	—
	認知症疾患医療センターの鑑別診断件数 (県調査)	897件 (2021年度)	—